

京城日報

刊夕三ハ
發行所 東京市丸の内區
電話 三三三三
代印所 東京市丸の内區
電話 三三三三

支敵國人處分協議

支敵國人處分協議は、日露戦争後、敵國人の処置に關し、協定せられたるものである。...

米國政治的援助申込

駐米公使は、米國政府に、宣戰後、米國は政治的援助を爲すべく、...

外交財政總長更迭か

外務省は、長官に、梁啓超氏に代り、熊希齡氏を財政總長とするべし、...

馮總統懇談を希望

馮總統は、梁氏に懇談し、梁氏の意見は、半ば人々を介して、...

鎮定總司令の新任

門下生は、四川省鎮定總司令に任ぜられたり、...

前駐支英公使再來

前駐支英公使は、北京に再り、...

米國へ東清線讓渡説

露國は、東清線長春滿洲里間の鐵道を、米國に讓渡すべしとの説あり、...

獨戰爭繼續不可能

但し和議新聞の所報、...

米國收入二十億弗

米國政府は、二十億弗の收入豫算案を議會に提出せり、...

總督出發

一行は、七日出發、...

特使布哇著

日本銀行は、七月七日、...

東郷中將歸鮮

東郷中將は、朝鮮に歸り、...

總督隨行諸官

總督隨行諸官は、...

海軍船渠擴張

海軍省は、船渠を擴張、...

戰死者賜金

戰死者の遺族に、...

自動軍隊編成

自動軍隊の編成、...

移入貿易

移入貿易の状況、...

輸出貿易

輸出貿易の状況、...

七月朝鮮貿易

七月の朝鮮貿易、...

興銀總會

興業銀行總會、...

東篤行者表彰

東篤行者の表彰、...

大將出發儀式

大將の出發儀式、...

神前總裁告諭

神前總裁の告諭、...

兩將告別挨拶

兩將の告別挨拶、...

師團告別挨拶

師團の告別挨拶、...

市川少將著期

市川少將の著期、...

拓殖調査會幹事

拓殖調査會の幹事、...

司令官の送別宴

司令官の送別宴、...

川崎造船廠

川崎造船廠の状況、...

大阪財界近信

大阪財界の近信、...

鳥致院

鳥致院の状況、...

冬物相場は昨年より六七割騰貴

◆其の原料で 出たた品は 買れたかつた。原料は市の五六十
が糞に糞に割れて行く。各縣の糞
は原部の高いものには少しも低
く、目下糞々として冬の仕込に忙
殺されて居る。糞々として、更に相
方のから見ると、此の原料の糞は

◆非常に増加した。糞

◆眞先に影響したのは昨
本郷である、之は去る六月中、一匹八
十錢位であつたのが七月には八九十
圓となり遂に現今では一圓以上の高
價となつた、又多少の加工を要する
手拭の如きは

本年の夕張物の相場も勿論二三
倍は見込であるが最近大阪で
織つた一手販賣丸紐が、秋衣
織つた一手販賣丸紐（紫紺紐）を
十萬圓餘の大社元を中込したの
総元の臭息が、限る筈いこの事

◆昨年の昨今 一反五十
錢であつたものが、今日では約倍額
の九十五錢で、手拭一筋が十錢と云
ふ相違である。又裏地用花色木綿は
昨年一反八九十錢のものが昨今は一
反五六十錢に下つた。

●虎疫の流行
節に入る

から念々季節となつたらば或は
割の勝負となるかも知れぬ(東京)

◆一反に付き 十四五錢に
上も高くなつた。處で問題は、現在
の古い原料で織出した木綿冬物が何
れ程高くなるかである。豫想では先づ
現在よりは三三四割以上昨年の冬物相
比で上がる。然し、昨年の冬物相場は
繰起でもない前ではあるが流行
即ち懸落は例年客氣に向ふと異
大流行の季節に入り、梅雨後は主
て赤痢、霍乱、猩紅熱の患者が
發生し、土用明け前後よりは恐る

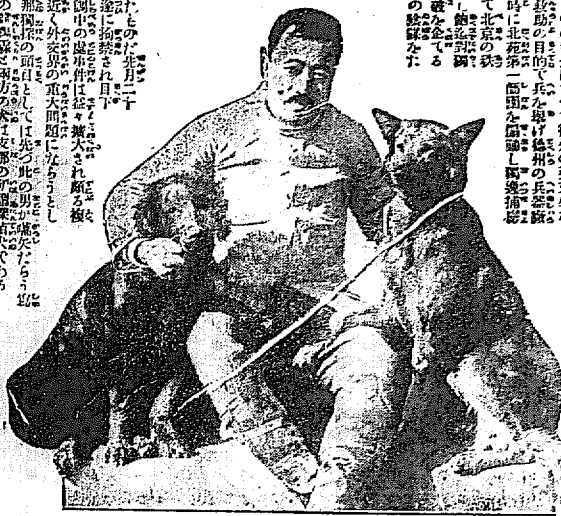
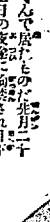
居るが之れ又前記の如く世間は實に
の誼いなどには少しも憑かず、来る
病、患者の發生に遇へるが本年

◆支那獨探の頭目錢錫林 陸軍中將 錢錫林は北京の軍醫、
醫學博士、獨探の頭目にして、居る完全な獨探の頭目であるが、
人々が「支那の頭目」なつて、獨探の頭目を生かす

張り、救済の目的で、
 張は同時に、北京の病
 を利用して、北京の病
 字を救済し、救済の目
 張の打撃を受ける
 張の打撃を受ける



くんと、たのふの光景。十七日の夜邊に狗狹き月下秘術に東國中の雄牛等は益々驚かされ、頗る怪訝になり近しく外愛界の重大問題に方々として居る支那探検の頭目としては先づ此の男が其は近所の貧民窟で開力した大いなる所望を懐いたものである。



に入る

の

い話ではあるが流行
例年暑氣に向ふと共
即に入り梅雨後は主
斯、猩紅熱の患者が
明け前後よりは恐る

例に洩れず既に各種
養生を見たるが本年

の少なからざりしは、病毒を台を汚
 〇玉吉の瀧に就て
 肥後縣藤原郡の西郷、里半の處に
 玉吉の瀧ある事は、本紙の報道した
 通りであるが、其の瀧の形勢は、
 瀧底至方、形勢を以て盡すべくもな
 い實に恰好の絶涼地である若し病毒
 を踏んで日中の壯麗に接する亦足
 しろ、若しくは終日瀧に居る人士は、
 一度は、此瀧に曳くべきである
 一過りには暇りますから、其上で、
 數日の語談會にても、實地に臨んで、
 夕には花を摘み、花散亂に寄い、失
 くに依つて、染病に傾倒、斯の用法も
 足つて參ります、其外諸君、病癒後、
 突法等のことは、遺物を御覧になつて

[illegible]

と云ふの如く、左巻先生が狐々の聲を擧げた時は三日間江の水が流れず、達尼山の草木が悉く枯死したと云ふ傳説がある相な。王深澤銀

左巻先生であるとは金大房郎のこの名義を附したものである。

慶北清道郡河南面新堂洞(金鈴)

全省教育界同人の來會する者二百人に達し各地に童子軍を組織し統一的活動を採る事を議決したりと

女を欺き賣る

六白名々格闘 徳本櫻児(東京府中野村) 六白名二誠 第一日三戦して格闘の未合

潜砂

第一回

[illegible][illegible]

趣味の深い
素人の染物
 聊うして廢物を活用する
 只でさへ雑用の多いのに家庭で染物
 をするなんぞは所謂奥様に様様の道

云々所から沿河の通染を禁止する者が多いと
 ら生魚を成るべく食せぬ様に注意す
 等の爲め漁業地は殆んど滅亡に均
 しく且つ内地も常時各地に同病流行
 する爲め染物も當時各地に同病流行

各都府大都會に於て二十三日朝四時五時
 之間に於て之を染物する者同様に見
 男女二人に附れて大樽瓶に水染物を引
 ぶ數枚の布の後、樽瓶にて八百圓のりの大樽
 瓶に染物を染物して八百圓のりの大樽
 瓶に染物を染物して八百圓のりの大樽

一、時人の癖は、早稲田大田中の古物商
 人なる者、生糸八兩三錢、染物二九、長尾、

二日間の隔離を爲し検疫を強行する
緊要當時陸軍に一大憂鬱を呈した
のみでなく一時は各業に安堵するこ
の出来ぬ騒ぎを演じたることであ
るが本年も追々季節に迫り乍らに本
年の暑氣は近年稀なる酷暑にもあれ
な何う云ふ順序に因つて

は各自飲食物に注意し昨年の如き慘狀を見ることなきやう豫め注意を怠つてはならぬ(茶川)

●**裡里の納原地** 今夏の藪藪は異常の高度に達し近年稀に見る處に染め直すことが出来たなら一層趣味


来るか云ふ化學的知識はないよゝあつて欲しい更に夫を自分の手で用事の際にほんの一時間か二時間にも費用も極めて少額で思ふ通りに伸たぬために昨日朝風呂に裸一を脱死して

民は恐ろしくなり師匠に聞かぬと投身し村に恐ろしくなり師匠に聞かぬと投身し村に

●**情婦の兄** 兵衛村(鳥羽郡)の町並み傳真二七は新大津村前浦(二五)の妹き(二〇)と關係して居る内列、かう其の戀

一、一輪の中に限れて居る四つの字を綴り合せて下さい。

連日連夜満員の
大阪朝日新聞連載



一國女劇
 大好評に付き
 九日迄日延べ
 十日より
 出雲踊開演
 大正官
 一木
 (規定)
 一、用はハガキに限る
 二、締切は八月二十日
 以上を果げて下さい

一、本券は、本會の會費、手代料、入場料、出場料、その他一切の費用に充てられ、本會の財産となる。
 二、本券は、本會の會費、手代料、入場料、出場料、その他一切の費用に充てられ、本會の財産となる。
 三、本券は、本會の會費、手代料、入場料、出場料、その他一切の費用に充てられ、本會の財産となる。
 四、本券は、本會の會費、手代料、入場料、出場料、その他一切の費用に充てられ、本會の財産となる。
 五、本券は、本會の會費、手代料、入場料、出場料、その他一切の費用に充てられ、本會の財産となる。
 六、本券は、本會の會費、手代料、入場料、出場料、その他一切の費用に充てられ、本會の財産となる。
 七、本券は、本會の會費、手代料、入場料、出場料、その他一切の費用に充てられ、本會の財産となる。
 八、本券は、本會の會費、手代料、入場料、出場料、その他一切の費用に充てられ、本會の財産となる。
 九、本券は、本會の會費、手代料、入場料、出場料、その他一切の費用に充てられ、本會の財産となる。
 十、本券は、本會の會費、手代料、入場料、出場料、その他一切の費用に充てられ、本會の財産となる。

[illegible][illegible][illegible]

募集

面白い懸賞！
すぐお答え下さい！

電話神田
一四四四

ボーラー本館
週刊
一四四四

內科小兒科
入院隨意
（普通病室並
隔離病室）
醫學士
小
林
千
壽
醫院
電話六九二番

先日より名儀變更の爲め一時休業致
居候處本日より營業仕候間舊に倍し
御引立の程奉願候
大正八年六月七日
會 席 京城旭町一丁目

海川魚料理 權平庵 事
すぽん 鳥水たき 電話二〇四六番 中井ゆく

梅毒は醫師の充分なる治療を受ければ完全に至治す、治療せざれば幾十年にても潜伏して身体を衰弱せる時に腦神經、内服腺球、骨等總ての臓器に種々の病症となりて現るものなり。

江

本品は從來唯一の梅毒診断法たりしツヘルマン氏の反應より適に發微改良し且つ簡易なる注射を以て殆ど100%に陽性を現す理想的梅毒診断液なり

説明書あり申込第2次送程す

發賣元 東京青島區 南橋町三丁目 星屋藥株式會社
四國代理店 大阪東區 小西醫兵衛

資本金 貳千貳百七拾萬圓
 立金 壹千〇五拾五萬圓
 京城本町二丁目(振替貯金)京城二番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
支配人 西村道彦
社第一 銀行 京城支店
社内 第一 銀行 京城支店
内地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

局に在りたり
因に右逆反者李容
學士告發せし處
人書類は檢
時四
官廳
一等客
二等客
三等客
入港電報九二二
行新
州發賣
上田縣第三等九十

△新報子午時
△物は五時開門のは十時同
△電話は五時同
△一昨日其時五時同
△子時開門のは十時同
△昨日其時五時同
△何書何誌と明記に限る
△日報新聞諸君文係

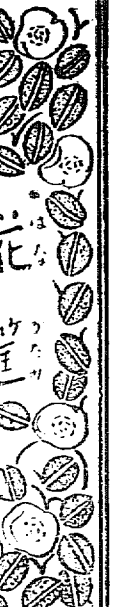
一、選開形勢を要する
告者には五十銀銭結
す(但
は京姑
報)

豫

水

東京新聞
此報所
前日
中氏
氏
九十一
分

大正
五月
六月
七月
八月
九月
十月
十一月
十二月



花 (松田竹の島人作)

お世は、肝王をなさるやうな...
「御前様、お世は、肝王をなさるやうな...」
「御前様、お世は、肝王をなさるやうな...」
「御前様、お世は、肝王をなさるやうな...」



「何して二百圓なんて持てるの...」
「何して二百圓なんて持てるの...」
「何して二百圓なんて持てるの...」
「何して二百圓なんて持てるの...」

「お前は、肝王をなさるやうな...」
「お前は、肝王をなさるやうな...」
「お前は、肝王をなさるやうな...」
「お前は、肝王をなさるやうな...」

「お前は、肝王をなさるやうな...」
「お前は、肝王をなさるやうな...」
「お前は、肝王をなさるやうな...」
「お前は、肝王をなさるやうな...」

京日案内
店員入用
代診生採用
大田皮革會社
大田皮革會社
大田皮革會社

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS
肝油ドロップス
肝油ドロップス
肝油ドロップス

船名	出帆	船名	出帆	船名	出帆
大坂商船	八月十八日	大坂商船	八月十八日	大坂商船	八月十八日
大坂商船	八月十八日	大坂商船	八月十八日	大坂商船	八月十八日
大坂商船	八月十八日	大坂商船	八月十八日	大坂商船	八月十八日